新春俳句大会

今井秀虹氏がトップに

去る一月二十九日公民館において新春俳句大会を開催しました。

○席題（　）内は本名
一位　今井　秀虹（照雄）
二位　坪谷十九一（徳一）
三位　小林　竹生（一磨）

○高点区
一位　小林　竹生
二位　坪谷十九一
三位　今井　秀虹

当日は二〇余の俳人が集りました。

○兼題（　）内は本名
一位　坪谷　耕雨（雅博）
二位　佐藤　々泉（安衛）
三位　今井　夫子（誠）

○高点句賞（　）内は本名
一位　佐藤　々泉（安衛）

丹念に乳牛の爪（つめ）剪る清き春
次に兼題の成績は次のとおりです。

初かまど母が残せし火吹竹
斧に冴ぐ浄めの酒や山始
早春、猫の恋」の席題で作りました。成績は次のとおりです。

○特選句
一位　東城　素秋　代表句
減反に不安の怒り春寒し
二位今井夫子　三位今井夫花
四位笠原茶山　五位伊藤利明

◎席題句
一位　坪谷十九一　代表句
うす墨で書く春愁の忌中札
二位今井夫子　三位坪谷耕雨

村内俳壇の先達として、更には県下に高く評価されている小阿賀吟社（代表小林竹生氏）では、二月十二日午前十時より会場木津中央会館に於て、県下俳句大会開催打合せを兼ね新年句会が催された。

県下俳句大会は、同社創立の基礎をなした「佐藤麦村寺先生」の27回忌に当ることと同社創立記念を兼ねて開催する事に決定した。大会は八月二十日を予定して居り、選者には新潟市の野崎芦舟氏を始め県内各地を代表する選者二十五名を当てることとした。なお兼題は、「甚平（じんべい）、睡蓮（すいれん）、金魚」の三題で五句一組（但し未発表句に限る）とした。

また、当日の句会では、同社の同人二十名が参加し、持寄句課題「春寒、焼野、いぬふぐり」の三題五句一組と、席題として「春雷、春愁」の二題三句の競吟が行われ、相互選の結果、次の通り決定した。

小阿賀吟社でも新年句会

二題三句の競吟が行われ、相互選の結果、次の通り決定した。

ブラジル訪問記

目黒ミヨキ（沢海）

イグワスの滝　後方はアルゼンチン

私は昨年十一月九日から十二月三日まで、ブラジル親善家族訪問旅行に参加してきました。

思いがけない旅行でした。親類や仲間の人達に送られて出発はしましたが、荷物このとやら長時間の飛行機で、なんとなく不安な気持でいっぱいでした。

あれこれと心づくしの土産をどっさり、幾度通る税関をせつない時の神頼みと神仏に念じ、無事通過、ほっと生気をとりもどしました。

飛行時間三十時間あまりでブラジルに到着、幾日前から待ちに待って下された皆さんに迎えられたことは感謝感激でした。

それからコンゴスヤ空港からサンパウロに到着、オニブシ（二階つきバス）に十二時間も乗り、パラナ州マリンガ市につきました。気候は日本の六、七月頃のさわやかな晴上ったすがすがしい好いお天気です。

緑の街路樹の美しさ、真紅の花、紫の花、鮮かに咲いている自然の美は例えようもないものでした。

七十万人余りの日系人が各々の分野でリーダーとして活躍しています。その実生活も見せてもらい、又聞かせて戴いて、感激する事ばかりでした。果しなく続く大自然の美しさ、みかん畑、レモン畑、落花生畑大豆畑、コーヒー畑、行けども行けども果しない広い畑作には驚くばかりでした。

家庭の主婦は、自分の家に幸福を求めるのが本筋です。本当に素晴しい一家団欒の楽しき家庭の結びつきを、みせてもらいました。朝起きるとお母さんは一番先にぼんぢゃ（お早よう）と笑顔で視線を交わし、軽く握手、次は子供さんにも同じくあいさつをします。

日系二世の方も歯科医、内科医、産婦人科、弁護士、技術者として活躍しています。

「葬式祭壇」の共同利用が実現

横越分館がよびかける

「葬式祭壇」の共同利用を図るための互助会組織の第一歩をなし、新生活運動の範となった小杉部落生活互助会の発足（昭和49年12月）以来、木津、沢海、藤駒の各大字が互助会を結成し運営している

横越でも昨秋に新田部落が賛同者を求めた処二五〇余戸の内一七〇余戸が賛成した、そこで発起人代表に五十嵐要栄智氏を決め、種々協議を重ね、二月二十六日横越村公民館に於て、発会総会を開催し発足をみた。

このことから上、下、川根谷内の部落から横越分館が提唱者となって、運動を起してほしいとの要望が強まった。そこで旧年末に、三部落の分館運営委員が葬祭々壇設置に関する趣意書をもって賛同者の呼びかけ、並びにその結果に基く準備委員会発足までを分館でお手伝する事とし、具体的に運動に入った。

一月中旬から趣意書を配布し、賛同の有無を求めた処、月末に集計に入った結果、上部落が一一八戸の内九七戸が加入（82％）下部落が一五七戸の内一一八戸の加入（75％）川根谷内が一五七戸の内五三戸の加入（34％）合計では二六八戸の加入で（62％）ある事から、各部落から五名の準備委員を選出し、二月九日第一回の会議を起して、新田部落に続いて、四月そこで発足する予定とした。

寒稽古で体を鍛える

木津の青少年育成会が実施

一月四日を初稽古とした小学生の柔剣道、銃剣道の寒稽古は九日に納会をすることにした。

村柔剣道連盟、木津地区青少年育成会では納会準備に木津婦人会の応援を得ることにした。当日は剣道を木津、永木徳太郎五段、横越阿部四段、藤山田村四段で、柔道は、木津佐藤栄太郎参段、横越増渕参段で、銃剣道は木津塚原、石井、涌井七段の指導で紅白試合個人試合の順で進められた。

特に剣道は人員が多いので二道場で試合が進められた。結果は剣道で、中学生個人一位、植木大輔君、小学生一位、和田政美君、柔道は小学生一位酒井勝己君、銃剣道は小学生は和田政美君が獲得し表彰された。又、夏以来の精勤者として、高木正明君が特別表彰された。参加者には全員参加賞が与えられた。

その後婦人会手作りのお汁粉をいただきながら散会した。

スキーで家庭サービス

親子で雪上レクリエーション

第四回を迎えた村民スキー教室は去る一月二十九日上越線五日町スキー場で開催しました。参加者は七十七名、特に親子の参加が多かった。

午前中は、希望者のスキー技術の指導、午後からは、雪上レクリエーションと楽しい一日を過しました。

ある参加者は「スキー技術向上よりも家庭サービスですよ」。と話してくれました。ともあれ、冬期間家にとじこもっていることが多いなか、一家そろって雪に親しむことはたいへん良いことではないでしょうか。

商工会珠算検定

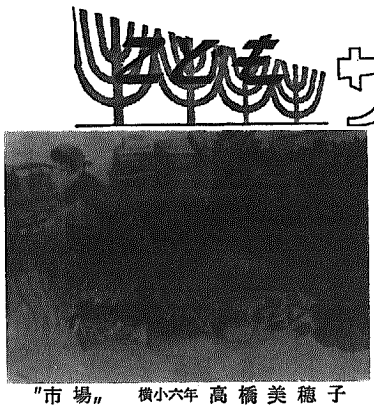
高橋信子さん（2級）等29名が合格

去る二月十二日（日）横越小学校で行われた珠算検定試験は九十九名が受験し、合格者は二十九名で合格率は二九・三％であった。

二級　高橋信子
三級　熊倉真奈美、野口優子、羽田登
四級　佐藤克哉、三浦吉直、高橋美和子、八幡和美、佐藤亜由美
五級　小柳美和子
六級　合格者八名、七級合格者六名、八級合格者五名

なお、次回検定試験は六月、一般の方々の受験も受付ている。合格は次の方々です。

サロン

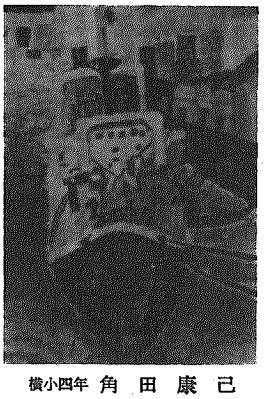


"市場"　横小六年　高橋美穂子

＜評＞

亀田の市場へ出かけ、写生してきた絵です。学習のねらいは、いろいろの野菜をよく観察し、緑の微妙な違いに注意してかこうということでした。美穂子さんは、ねらいに忠実に取りくみ、大根、かぶ、キャベツ、ほうれんそうなどをよく観察し、彩色しました。それこそ、カラー写真でないのが残念です。

（担任　堅田　勝）



横小四年　角田康己

＜評＞

十月初旬に新潟の中央阜頭で写生したものです。どっしりして重そうな船を画面一ぱいにうまく表現しています船と海の色が同系統の色なので港の情景を入れ明るく仕上げる工夫をしました。海面の水々しさを出すのに大変苦心をしたようでした。

（担任　飯村美子）

3月保健衛生業務予定

月日	曜	時間	内容	対象者	会場	対象
3月16日	木	午前9.30開始	離乳食講習会	昭和52年10月・11月生	横越村公民館	全村
		午後1.30～2.30	乳児検診	昭和52年3月・8月・12月生	〃	〃
3月29日	木	午後6.30開始	新婚学級	婚姻届のあったもので未受講のもの及び婚約者	〃	〃

横越村の人口

（53年1月末現在）

総人口8,460　うち男4,125　女4,335

世帯数　1,869世帯

1月の動き　出生10　転入31　死亡6　転出12

県知事選挙の日程決る

投票日　4月23日

今春四月改選される県知事選挙の日程が決定しました。

これによると、選挙の告示が三月二十九日、投票日が四月二十三日（日曜）となっています。

※不在投票の活用を

投票日当日用務等で投票所へ行って投票できない場合は不在投票ができる期間は、告示の日（3月29日）から投票日の前日（4月22日）までです。なお、不明の点等については気軽にお問い合せ下さい。

※選挙事務室

3月22日から設置

専用電話二一〇九番